

SHIN CLUB 155

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「東麻布の家_M邸」(左から2棟目) 撮影:アック東京

東京タワーの見える街

昨年、オープンした「東京スカイツリー」(高さ:634m)には、年末までに多くの方が訪れて話題を呼びました。しかし、富嶽三十六景でおなじみの富士山のように、東京タワー(高さ:333m)の見える街では、人々の東京タワーに対する愛着は変わらないようです。

今月ご紹介する、写真の店舗併用住宅のビルでは、最上階のオープンテラスから、東京タワーが間近に眺められます。地デジ放送のために、その役目をスカイツリーに譲ることになった東京タワーですが、一部放送施設は存続し、災害時などでスカイツリーから電波が送れない場合の予備電波塔として、また東京都の環境測定装置としても引き続き利用されることになっています。

東京タワーは、放送塔としてはこれまでのような大きな役目を終えることにはなりましたが、観光施設のほか、毎週コンサートが開かれるライブスポットがあったり、ランナーズサロンを設けたりして、入場料が安く、都心で気軽に立ち寄れるスポットとしての道を探っています。東京タワーの夜景は、スカイツリーの圧倒的高さとは異なる、親しみやすさがあり、当分解体されることはなさそうです。

街のランドマークは、結構大事と思うことがあります。オープン当日に駆けつけるフットワークの軽さはもはやありませんが、街に新しい景色が出来たとき、新鮮な感動を受けることは少なくありません。

また、たとえ他の人にとっては大したものでもなくとも、子供の頃か

ら長いこと目にしていたものが、故郷の記憶と重なり、叙情を持って思い出される場合があります。東京タワーも、後樂園遊園地も、ディズニーランドも、そのとき一緒にすごした家族や知人との時間を取り戻す手立てとなります。観光名所として、無理矢理作ったものもあるかもしれませんが、非日常であることがさらに心に働きかけます。

もちろん無骨なものが、今までの景色を台無しにしてしまうというのはいただけませんが。

日本中どこでも同じ風景というのは寂しいものです。その街を特徴づける、何かがあってほしい。日本全国で町おこしが盛んになってきましたが、例えば妖怪の街、ペットの街、写真の街、昭和の街……。大事なはその名前。名前をつけるという行為はなかなか難しいものですが、どこに行っても「○○が丘△丁目」では面白くもなんともありません。その名前に値するものを考えて、思いを寄せる、プレゼントするような気持ちが入り込みます。おじさんの駄洒落もまんざら捨てたものでもありません。あなたの街に自分なりの名前を付けてみてはいかがでしょう。どんな名前の街になるのでしょうか。その名前に満足していますか？

東麻布の家_M邸

東京を感じさせる、都心型店舗併用住宅

虎ノ門の金物店が、道路拡張工事による立ち退きのため、東麻布の地に店舗兼住宅として新たに建設されることになった。敷地の前面道路は幅 28m という広さ。さらにその奥に首都高速がそびえ、反対の北東側には東京タワーが間近に見える。これぞ「東京」というダイナミックな敷地環境を生かし、間口が小さく奥行きのある土地に、塔状比を最大限に活かしたビルを計画した。

鉄骨造の建物の外壁は ALC。1 階店舗は、天井配管や照明をあらわしとしたシンプルなレイアウトで、旧店舗の棚をそのまま利用し、商品を陳列する。2 階店舗は天井高 3m50cm を超え、比較的高価な品物を置くことと、将来貸店舗とすることも考慮して 1 階とは差別化を図っている。前面のアルミサッシ窓を大きく開き、大きなものは直接搬入できるようなにもなっている。

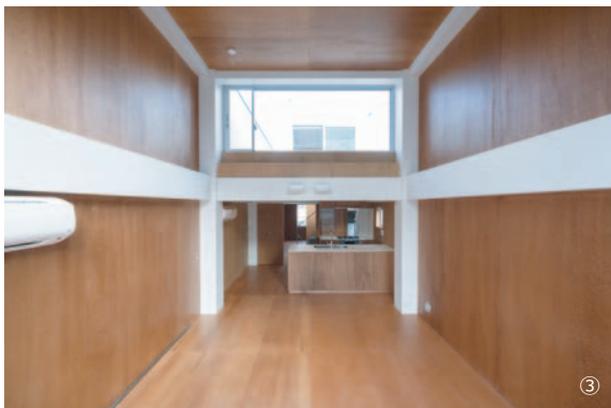
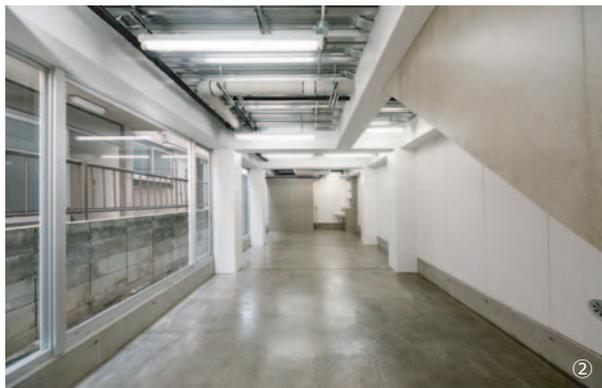
上階の住居部分は、ガラス張りの階段室を建物中央に配置することで、効率的に通風・採光を確保して住環境の安定を図っている。

住居部の 3 階は、壁、床、建具をラワン合板で仕上げ、普段、畳で生活されているご主人の要望に応え、昔の続き間をイメージした和の空間となっている。4 階は、天井高を確保したLDKと子世帯の個室。リビングとルーフテラスをつなぐ窓からは、東京タワーを臨める、心地よい空間である。

(金 栄宇 氏 談)



所在地：港区 構造：鉄骨造 規模：地上 4 階
 用途：店舗・住宅
 設計：金栄宇 / ナカノアトリエ
 竣工：2012 年 12 月
 施工担当：澤井 撮影：アック東京



①外観②1 階金物店店舗部分③4 階LDK。窓からはルーフテラス越しに東京タワーが見える④3 階和室。障子戸を開けると縁側の先に首都高速の高架線が見える⑤2 階店舗。左側の階段上部はロフトとして使用⑥住居部分階段室。塔屋からの採光が下層まで届く⑦3 階バスルーム

松涛の家 改修工事

アメリカンスタイルの住宅の全面リフォーム

このたび、渋谷区の高級住宅街にある邸宅の全面リフォームを手がけさせていただきました。設計の富永哲史氏にお話を伺いました。「親御様世帯から引き継がれたお住まいは、十分上質な空間でしたが、子供時代をアメリカで過ごされ、またアウトドア・スポーツ関係の会社も経営されている依頼主のアクティブな感覚に応えた空間にリフォームすることになりました。来客も多いため、大きく一つながりにリメイクしたりリビングダイニングを中心に、ご夫婦と小さなお子様方の生活空間の設備を更新し、バスルームや洗面台、トイレなども、より周囲との関係を生かしたデザインになっています。ファミリーの時間を有効に活用していただけるブレイルームを設け、テラスとの一体感を図るなど、心地よい空間に仕上がっています」と、富永氏。弊社も、洗練された大型リフォーム物件の施工機会を得て、今後につながるプロジェクトとなりました。

Before

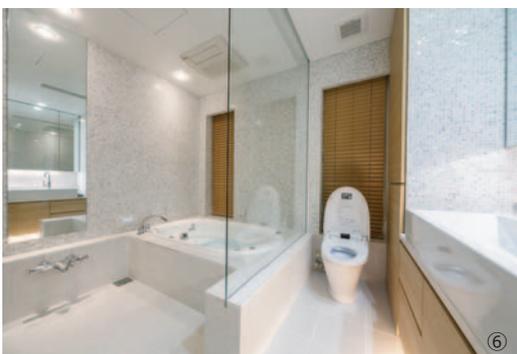


①外階段からアクセスする 2 階の玄関。広いスペースに天井までの玄関収納が用意されていた②ダイニングからリビング方向を臨む③反対にリビングからダイニング方向を臨む。趣のある家具や調度品が室内を彩っている④今回ブレイルーム（下写真④）となった 2 階南側に面した書斎⑤きれいなタイルに囲まれたキッチン⑥洗面台とトイレ、ユーティリティ

After



①玄関。右側はシューズインクローゼット。さらに手前にペットのためのスペースも用意されている②リビングダイニング。既存のシャンデリアを今回もダイニングに採用③キッチン。木製の壁をガラスで覆った、大きなオリジナルキッチン④2 階ブレイルーム。テラスのデッキから床まで一体感のある仕上げ⑤1 階子供部屋 1。右側坪庭テラスの向こう側が主寝室。中央の階段は 2 階ブレイルームとダイニングに通じる⑥1 階バスルーム。ガラスの仕切りには、撮影後、ブラインドを設置⑦2 階玄関脇のトイレ。木製ルーバーを通して、隣家の緑が目やさい



所在地：渋谷区
構造：RC 造
規模：地上 3 階の 1、2 階部分
改修設計・監理：富永哲史
／富永哲史建築設計室
施工担当：岩本、堤
引渡し：2012 年 12 月
撮影：②④⑤⑥⑦アック東京
①③編集部

「平成 25 年度 株式会社辰 安全大会」 2013 年 1 月 30 日

恒例の「辰安全大会」が、1 月 30 日、渋谷商工会館にて開催されました。これは、協力業者の皆様と全社員からなる、「辰安全衛生協力会」が、工事現場の安全と作業者の健康に配慮した現場管理のため毎月実施している安全委員会の総会となるものです。

年間の活動報告、会計報告に加え、優秀であった、「安全協力業者」1 社、「安全作業所」の表彰を行い、協力会全体で公募した「月間安全標語」（安全スローガン）13 本の中から「最優秀安全標語」を決定しています。

今年の安全協力業者は、(有)小島鋼業様でしたが、担当者の方は、インフルエンザで欠席されました。弊社本社でも流行っており、全社員に現在注意喚起をしております。

優秀安全作業所は、今年は以下の 2 現場でした。

- ・富ヶ谷集合住宅新築工事（担当：鈴木拓司）
- ・高井戸の家 M 邸新築工事（担当：中川伸一、谷健司）

最優秀安全標語は、以下の標語に決まりました。

- ・「声を掛け合い 仲間を守れ
家族があなたを 待っている」

加田岳司様 東明興業(株)

また毎年、協力業者の職人の方々の中から、卓越した仕事ぶりを発揮していただいた方を、「匠」として表彰しております。昨年は該当者がありませんでしたが、今年は右の写真の 3 名の方を表彰させていただきました。

総会終了後、社長の森村より、現況についてご報告申し上げました。最後に昨年入社した弊社新人社員（右写真参照）のご紹介をさせていただきました。よろしくお願い申し上げます。



辰安全衛生協会会長挨拶
小関邦昭様 (株)小関工務店



辰安全衛生委員長挨拶
窪田幸夫 (株)辰



安全作業所表彰者（左から）
鈴木、中川、谷



平成 25 年度匠表彰（左から）
石川政勝様、テイシン警備(株)、横田光弘様
(株)横田工業、二葉常夫様 (株)巴水道工務店



辰 森村社長



最優秀安全標語
加田岳司様 東明興業(株)



新人紹介(左から) 藤澤康博(工事部)、齊藤絵美(管理部)、貞弘諭史(工事部)、八幡涼子(工事部)、山川保晴(工事部)

「(仮称) NLPハウス新築工事」
上棟式 2013年1月29日



オーナーのこだわりに応えた、2階建ての素敵な建物です
所在地：世田谷区
構造：RC造
規模：地上2階
用途：専用住宅
設計：井上洋介建築研究所
完成予定：2013年 春

『「BASE 南青山」が『 ARCHDAILY(世界最大読者数の建築 WEB サイト)』に掲載されました』

<http://www.archdaily.com/306843/bma-project-ryuichi-sasaki-sasaki-architecture/>



© Ryota Atarashi

WEB 上で建築を紹介するサイトは、国内外にたくさんありますが、世界各国の建築を紹介する「ARCHDAILY」は世界最大の訪問者数を誇るということで、いろいろな国の設計者の作品が見られます。

読者投票とエディターによる年間優秀賞「BUILDING OF THE YEAR」やインタビュー記事などが良質な写真とともに楽しめます。

昨年末には、弊社施工の「BASE 南青山」と設計（PM コムラエージェンシー）の佐々木龍一 + 西村和哉 / 佐々木設計事務所が紹介されました。 <http://www.archdaily.com/> 「BASE 南青山」は一昨年 FRAME（オランダ）の WEB 版にも掲載されています。

<http://www.frameweb.com/news/base-minami-aoyama>

また「AIA japan（アメリカ建築家協会日本支部）デザイン大賞 2011」も受賞しています。ぜひ、ご覧ください。

編集後記

・「ShinClub 154」でご紹介した「st bldg. (世田谷のコーポラティブハウス)」(設計：若松均) が、『新建築 2013.2 月号 集合住宅特集』に掲載されています (p.156-163)。どうぞ、ご覧ください。

・1月、NHKテレビで「SANNA」の海外での活躍ぶりを紹介する番組がありました。建築になじみのない人にも興味深く映ったようです。「BASE 南青山」のように、英語版 WEB サイトで評価される設計事務所様もあり、弊社の施工物件も、今後とも積極的に発信していきたいと考えています。

(株)辰 通信 Vol.155 発行日 2013年 2月8日 編集人：松村典子 発行人：森村和男

東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL : <http://www.esna.co.jp>